



さかわようちえんだより~7月号~

さ:最後までがんばる子 か:感じる心をもった子
わ:わくわくしながらチャレンジする子

令和3年6月30日
小田原市立酒匂幼稚園
園長 向笠 弘子

梅雨の晴れ間に子どもたちの元気な声が園庭に響きます。子どもたちが雨が上がったことに気付く速さは、雨雲の動きを感知するレーダーがついているかと思うほど速く驚いている今日この頃です。

梅雨は、木々や草花にとっては大切な潤いを与えてくれます。そのような中、子どもたちは、その時期ならではの面白いことや不思議なことを見つけ遊んでいます。大人も子どもを見習って、潤いの季節を十分味わいながら生活していきたいと思います。大人の穏やかな気持ちは、自然に子どもたちに伝わります。長引くコロナ禍で、沢山のことを感じている心を少しでも潤わせ、もうすぐ来る太陽がキラキラ輝く季節に負けない準備をしておきたいですね。第1学期も残すところ、あと1か月。ご理解ご協力、よろしくお願ひします。

親離れ~サツマイモの苗植え

6月8日に、年長さんがジャガイモの収穫とサツマイモの苗植えをしました。いつも、『そだてやさん』の栽培活動にご協力いただいている鈴木さんと、JAかながわ西湘農協の方も来園してくださいました。その時に、JAの方から次のようなお話を伺いました。「サツマイモの苗は、この後一旦しおれます。ですが、それを乗り越えて元気に育っていきます。それを親離れというのだそうです。」サツマイモも、子どもも育つために大切なことは同じということを感じました。予測不可能な時代を担う子どもたち。様々な課題に出会った時に、それを乗り越えていくために、じっと耐え、時期がきたら頑張る。このように、粘り強く課題を解決する力を育てていく大切さを感じたサツマイモの苗植えでした。『親離れ』子どもが自立するためには、子どもがじっと耐え、頑張っている時には様子を見守ることも大切ですね。

「上履き小さい！」

週明け「上履き、小さくなった！」という言葉が耳にすることがあります。環境や遊びが変化した現代では、子どもたちの足跡が大きく変化し力強さが失われ、小中高生の足のトラブルが増えているそうです。また、足に合わない靴を履いている子どもに足のトラブルが多いとされています。これから大きく育っていく身体を支えていく子どもたちの足。その足に合った靴を履き、足のトラブルから子どもたちを守っていきましょう。

足と靴のチェック

- 1 靴を履いていると、つま先が痛い時がありませんか（靴が小さい可能性があります）
- 2 靴を履いたままかかとを上げると、かかとが浮く時がありませんか（靴が大きい可能性があります）
- 3 靴の踵が潰れていたり、傾いたり変形したりしていませんか
- 4 靴の長さや幅が合っていますか
- 5 靴を履くときに、つま先でトントンして履くことが多くありませんか（靴は踵があった状態ではなくように設計されています）

絵本『はらぺこあおむし』

絵本『はらぺこあおむし』の作者、エリック・カールさんが5月23日に亡くなりました。職員間でも、切り絵のカラージュや色づかいなどの素晴らしさや代表作の数々が話題になりました。また、『はらぺこあおむし』は、穴あきの手法が当時のアメリカでは難しかったため、英語の初版本は日本で印刷・製本されたという話も聞きました。雨の多い季節。お子さんと一緒に絵本に触れて心が丸くなる時間もおすすめです。

さくら組7月の約束
優しい心でみんなと仲良くします

ほし組7月の約束
優しい心でみんなと仲良くします
人に迷惑をかけません